

《担当者名》西郷 達雄

【概要】

臨床心理文献講読 は、臨床心理文献講読 で学んだことを基礎として、臨床心理学関連領域における英語による研究論文や資料等を読み、最新の知見を得ることが出来るようになることが目的である。各自の研究テーマに合った最新の論文を収集し、精読し、他学生とともにシェアすることで、深い学びを体験する。

【学修目標】

各自の研究テーマに合った論文や資料等を検索し、収集できるようになる。
論文等に出現するキーワードやキーフレーズを見つけることが出来るようになる。
論文等に書かれた内容が理解でき、資料にまとめることができるようになる。
他学生とともに論文の批判的吟味を行い、ディスカッションできるようになる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1・2	ガイダンス	本授業の流れを説明する。プレースメントテストを実施し、自身の習熟度を把握する。	西郷 達雄
3・4	英語論文等の収集	論文等の収集に必要なテクニックを紹介する。各自のテーマに合った論文を検索する。	西郷 達雄
5・6	英語論文等の購読	問題、目的、仮説、方法、結果、考察等それぞれにおいて、英語論文で使われている基礎的な表現について学ぶ。	西郷 達雄
7・8	英語論文等の購読	英語論文で使われている基礎的な表現について学ぶ。各自が選んだ論文等のキーワードおよびキーフレーズを見つける。	西郷 達雄
9・10	英語論文等の購読	各自が選んだ論文等を和訳し、まとめ上げる作業を行う。	西郷 達雄
11・12	抄読会の準備	各自が選んだ論文等を紹介する準備を行う。抄読会のために必要な資料作りについて説明する。	西郷 達雄
13・14	抄読会	各自が選んだ論文を他学生に紹介する。	西郷 達雄
15	まとめ	抄読会にて、得られた知見をまとめる。	西郷 達雄

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

レポート（50%）、発表（30%）、および授業内での討議への参加（20%）で総合的に評価する。また、レポート、授業内での討議および発表に関する評価は、ルーブリックの導入等により客観的な評価基準を設定した上で、フィードバックを行う。

【教科書】

指定はない。授業内に適宜配布する。

【参考書】

授業内に適宜紹介する。

【備考】

辞書については、各自が使いやすいものを必ず持ってくる。インターネット上の辞書については、正しい意味や訳になっているかが保証できないため、利用する場合は十分に留意すること。

初回のプレースメントテストは、自身の英語力を理解し、各自の英語力に見合った論文を見つけることを目的としている。各自の英語の習熟度が異なるため、自分が気に入った論文等を見つけ出し、紹介することを目的としている。

論文の翻訳精度よりも、各自が世の中にとって有益かつ面白いと感じる論文に出会い、それを他者と共有するという一連のプロセスを体験する授業である。したがって、英語力に自信はないが、この授業に興味があるという 学生は恐れずに参加してもらいたい。

受講生の数に応じて、講義を進めるため、講義の進行に変更が起こりうる場合がある。

【学修の準備】

4年生後期の選択講義であるが、大学院等に限定されることなく、社会人になっても役立つ知識やスキル、批判的吟味などの考え方を獲得できる授業である。学習の準備は、2点ある。一つ目は、各自の研究テーマに沿った資料等の一つを見つけること、二つ目は、毎週授業で学んだことを復習し（30分～60分程度）、予習として論文を少しずつ翻訳することである（60～90分程度）。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

本講義を通して、心の問題に関わる職業人として必要な幅広い教養と専門的知識を修得する手立てを身につけ、社会や科学技術の進展に伴い、自律的に学習する姿勢や態度を身につけることを目標とする、という本臨床心理学科のディプロマ・ポリシーに適合している。

【プールクレジットシステムについて】

本授業は心理科学部臨床心理学科の研究協力者プールクレジットシステムに従って、様々な研究への参加・協力を最大5%の加点として評価する（詳細については初回講義にて説明する）。

【実務経験】

西郷 達雄（公認心理師）

【実務経験を活かした教育内容】

これまでの臨床経験および研究成果を基に、臨床および基礎系の研究論文を読み解く方法について紹介する。